

ASAGOiNG

2018.06 no.8

Index

ASAGOiNG 2

朝来市の人と、まちと
FUDABA kitchen・福富英人さん

ACTiNG 4

朝来市で活動する
和田山駅前軽トラ市実行委員会

WORKiNG 5

朝来市で営む、働く
照福こども園

WADAYAMAiNG 6

和田山地域

YOU ARE THE FUTURE OF OUR TOWN!

TAKE FREE

ASAGOING

朝来市の人と、まちと

FUDABA kitchen
福富英人さん(和田山町)

不屈の精神で立ち向かう

負けたくない

和田山生まれの福富さんは、野球に明け暮れる少年だった。その才能は周りからも期待される程だったが、中学生で肘を壊し、手術。野球で高校進学するという目標は、目の前まで来ていたが断念せざるを得なかった。高校に入学後も野球部に入部。描いていた将来とは違っても、今の自分にできることに一生懸命打ち込み、チームをまとめるキャプテンを務めた。その当時から常に意識していたのは、野球の松坂大輔選手。同い年で、それも野球で活躍する松坂選手が眩しかった。味わった挫折とライバルに負けたくないの思いは、その時も、そしてその後もあらゆる原動力へと変わっていく。

飲食業へのきっかけ

「いつか教師になって甲子園を目指す。」という夢を持ち、東京の大学に進学するも、企業への就職活動をした。しかし、大学卒業当時は就職氷河期で、就職活動をするも実らず、在学中からアルバイトをしていた大手焼肉チェーン店で働くことになった。2年目から店長となり、山梨県の店舗へと異動。持ち前の一生懸命さと野球部のキャプテンで培ってきたチームをまとめる力が発揮され、全店舗通の年間と一日の売り上げ共に1位を獲得する店舗となったのだ。その後も会社からの目標を達成し、26歳でエリアマネージャーに就任。これまでと違った業務に就くことで、今まで知らなかった未知の世界を経験し、業界の様々な人に出会った。そこで強く感じたのは、東京で生まれ育ったビジネスマンとの「ビジネスセンスの差」。「もっと頑張らないといけないな。」との思いが強くなり、休みの日もビジネスの勉強に励んだ。

起業というスタートライン

勤めていた会社でプロジェクトの責任者となり、上海万博でのDELI出店を決めた。順風満帆な一方で、「もっと責任のある仕事したい。」と今後の自身のあり方に迷っていた。ここで役員を目指すのか、転職をし一から頑張るか、経営者となり独立するか。選んだのは経営者になることだった。決めてからもしばらくは、社員として奮闘した。そして、35歳の時に起業。半年の準備期間を経て、和田山にカフェレストラン「FUDABA kitchen」をオープン。「東京に出たとき、田舎コンプレックスの塊だった。それがずっと気になっていて。そういうのを取っ払いたい。」だから一番初めに出すお店は、地元朝来市でと決めていたのだ。FUDABAという名の由来は実家の屋号から。屋号を含め、生まれ育った町で「受け継いでいくこと」を大切に、今度はここから、東京を振り向かず店にしたいと意気込む。現在は、朝来と東京の2地域を拠点に暮らし、仕事をしている。朝来からは都会で衰退してきている「ふるさと、家庭の味」を、東京からは「まだ朝来にはない新しいもの、流行のもの」をそれぞれの地域に届けていくために。両方のまちの良さを知ったからこそ感じる朝来に生まれた強み、東京で学んだ経験をフルに生かしながら。

誰かと比べ自分が劣っていると思うだけは辛い。しかし福富さんは、その自分が抱く思いに真剣に向き合い、ただ考えるだけでなく、常に行動していた。行動すると景色は変わる。その大切さを福富さんから学んだ。



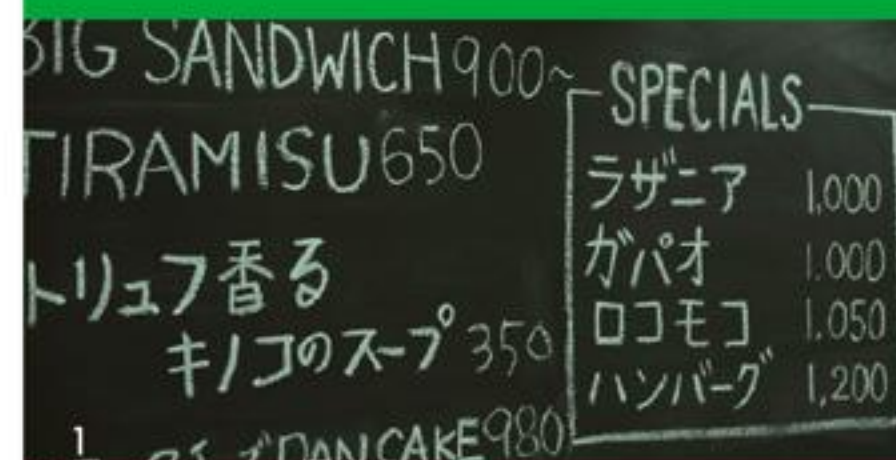
FUDABA kitchen

【所】朝来市和田山町法興寺51-1
【時】7:00~16:00 【問】079-672-6830
Facebook >> 「FUDABA kitchen」で検索

「多くの人の出会いの場所となれるよう
地域の人に愛され、地域の人が自慢できるお店となれるよう」

そのため、1つ1つを大事にしたい。
一杯のコーヒーを、
生産者さんが手塩にかけて育てた野菜を、
想いのこもったものを。

FUDABA kitchen のこだわり



1 どこよりも早く、常に新しい、 たのしいメニューを

東京でのトレンドを先取りし、大阪などの中間地域をすっ飛ばし、いち早く和田山でお届けします。飽きの来ないメニューの変化を楽しんでください。

2 地元の野菜で、 とにかく鮮やかに、おしゃれに

「育った地で食べるのが一番おいしい」を心掛け、地元産の野菜をふんだんに使い、色鮮やかに。見た瞬間、「うわぁ!」となることを目指しています。

3 ユニバーサルデザインの イタリア製家具を

お年寄りの方でも楽に座れるよう工夫されています。ゆったりと、その人の使い方ができる空間に。



FUDABA kitchen のオススメ



サンドウィッチにはFUDABA kitchenの定番から期間限定のものまで、とにかく種類豊富で15種類! 男性でも大満足のボリューム。お腹も心も嬉しいサンドウィッチはいかかですか?



ふわっふわのパンケーキ。季節限定でパンケーキの味も七変化! 4月は「クリーンプリュレパンケーキ」も登場。ここにしかないFUDABA kitchenオリジナルパンケーキをぜひご賞味ください!

*その他メニューあり。各種テイクアウト可。

おすすめはやっぱりサンドウィッチです!
お店では常に新しいものを出しているのでも、それも食べて楽しんでほしいです。
なにより、このお店に来たら、「明るいし、楽しいな。また来たいな」と思ってもらえたら嬉しいですね!



店長の木谷さん



ACTiNG

朝来市で活動する

和田山駅前軽トラ市
実行委員会 (和田山町)



MORE INFO

毎月第4土曜日9:00~12:00開催
場所:和田山駅前センター街
HP >>
wadayamatoraichi.jimdo.com

(上段左→右)藤原さん/高橋さん/
太田さん/多次さん
(下段左→右)夜久さん/田辺さん/
西澤さん

和田山駅前軽トラ市って?

和田山駅前センター街で毎月1回、“軽トラ市”が開催されている。ここでは16台~17台の軽トラや出店者が並び、この日を楽しみにしているお客さん達で賑わう。出店者は朝来市内だけでなく、市外からもあらゆるものを届けてくれる。お弁当屋さんやクレープ、ケーキなどのお菓子屋さん、但馬の北からは新鮮な海鮮物を、地元からはおいしい農産物が。食料品だけでなく、お花屋さんや雑貨屋さんもやってくる。また、「カブトムシの幼虫を無料配布します!」など季節に合わせたイベントや買い物券抽選会、バンドの演奏など、子どもからお年寄りまで楽しめる工夫がたくさんつまった“軽トラ市”なのだ。

はじまりのきっかけ

実行委員会:お店が立ち並び、人の行き交いが盛んな商店街も、まちに点在する日用品やお酒などそれぞれに特化した個人商店も、時代が進むにつれ大型ショッピングモールなどへと集約されていきました。“1つの場所ですべての買い物を済ませることができる”そんな便利な反面、商店街は寂しくなりました。また、生活範囲が広くなり、交通手段に困り、買い物が容易いものではなく“買い物難民”と言われる人たちが出てきたのも事実です。そんな中で、かつての和田山の中心地における賑わいを取り戻し、人と人が触れ合える場を作れないかとの思いから、この軽トラ市をはじめました。

いまではこんな場所に

実行委員会:何よりも大切にしてきたのは“地元”の人にとっての暮らしの場になることです。2018年4月で8年目を迎えた軽トラ市。そこには商店としての役割があるだけでなく、軽トラ市出店者とお客さん、地元の人たち同士などの素直なコミュニケーションが生まれています。お年寄りの方の身近な買い物の場となり、「あの人が来てないな、元気かな」「今月も元気でおんなるな」など月1回の安否確認の場にもなっています。軽トラ市という、メンバーの想いが集まってはじまった取り組みは、今や“多様な地域コミュニティの場”でもありますね。

こんなこと、初めてみませんか?

実行委員会:軽トラ市では、出店者さん大歓迎!軽トラ市というだけあって、軽トラで荷物を運び、販売する人は多いですが、ご自身でブース横に車を止め、設置・運搬・片付けをスムーズに行ってもらうためなので、軽自動車でももちろんOKです!また、和田山駅前の空き店舗でお店を出してみたい方も募集中です。「やってみたくはいいけど自信がない」「本格的に始める前にお試しでお店を出してみたい」などちょっと挑戦してみたい方!トライアル店舗から始めてみませんか?それぞれの詳細は軽トラ市までお問い合わせ下さい。

Get back energy in front of the station



WORKiNG

朝来市で営む、働く

照福こども園(山東町)

故郷として思い出せる、
帰ってきたいと思える場所を目指して
— 藤本正子さん(主任保育士/40代)

“大人の真心で子どもの心を育てる”照福こども園の理念には、「保護者、保育士、地域が持つ力を繋ぎあわせて、子ども達に大きくなって欲しい」との願いがある。そんな照福こども園での日常は、とにかく一日外で遊ぶ。園の周りも最高の遊び場。田んぼの畦道だって、冬の川だって、子ども達にとっては身体も頭も動かすことのできる場所。「自然の中での学びを大切にしている。子どもがやること、発すること全てに意味があって、大人の価値観だけで判断して、答えを出すのではなく、一人一人の思いや気づきに寄り添う事を心掛けている。」と藤本さん。園児一人一人の成長は職員間でも密に話し合う。「子育てのことならここに来たら大丈夫!という場所になればいい。」笑顔で話す藤本さんの言葉には、子どもたちへのあたたかい愛情と照福こども園への強い思いが溢れていた。

寄り添い、共感し、ともに歩む

— 若林小有里さん(保育士/30代)

中学の時から保育士に憧れ、短大卒業後、地元に戻り照福こども園の保育士として働き始めた。今年で保育士として12年目を迎えるが、自身も出産を経験し、保護者との関わり方も変化した。「その子の育ちと一緒に共感し、見守ってあげたい」と子どもの一瞬一瞬の心の動きを見逃さないように心掛け、保護者や職員間でどう語り合っていくのか模索し取り組む毎日。そして子ども達とは“一緒に夢中になって遊ぶ”をモットーに、関わりの中でその成長を見つめる。「自分を思いっきり発揮してほしい。そこにしかない、今しかできないことがあって、園でも、子ども同士でも、思いっきりぶつかって、遊んで、楽しんで、喜怒哀楽のあらゆる感情をたくさん経験してほしい。」と若林さん。その場に生まれている空気、感情と一緒に味わい、楽しめる素敵な保育士さんだった。

若林さんの一日



藤本さん



若林さん

WADAYAMAING

和田山地域 (和田山町)

変わっているようで
変わっていない
先人たちが残した町並みと共に
今の暮らしが続いていくように

«Here!»

和田山地蔵祭

但馬3大祭りの1つ、和田山地蔵祭は毎年8月22日・23日に開催されます。22日は前夜祭として、町内に点在する「アとこ地蔵」と町内会が趣向を凝らして制作した「造り物」を巡るスタンプラリーも開催。23日はキッズダンスや各団体による演奏・演技などの様々な催し物が行われ、さらに70を超える夜店と約3000発の夜空を彩る花火で大賑わい!この日、和田山の夏を楽しんでくださいね!



和田山十日えびす

毎年1月10日は、商売繁盛、家内安全を願う和田山十日えびすが二宮神社(a)にて開催されます。約1000人を超える人が訪れるほどのこの行事は、二宮神社の氏子である和田山の4つの区(上町・京口・本町・新町)の持ち回りで行われています。その歴史はなんと100年前に遡るとか。約4000本用意される福くじでその年の運試しを!家族総出で参拝に訪れてみてください!



EVENT



自立した区での取り組み

朝来市内でも人口が1番多い和田山地域。そのため、和田山地域内にある、それぞれの区が自立し、暮らしに工夫を。例えば、資源回収が月に1回あることも、地域の合同文化祭が各地域持ち回りで運営することも、ここ和田山地域の自主性があらわれています。



防災意識で暮らしを守る

これまで実際に大きな災害を経験したことのない和田山地域ですが、いつ起こってもおかしなくない災害に備えた準備はいつもしているのです。地域住民によるパトロールはもちろん、地域の防災委員と区長を交えた定期的な会議も。災害時に使用する備蓄倉庫とAEDの多さも朝来市で一番です!



得意なことを活かし自分らしく

和田山地域には、何かに特化した技術を持っている人が多く、フラダンスや雅楽、茶道に落語とにかく文化度が高いのです。枚田岡会館(b)では、7区合同の文化祭が毎年開催されたり、太極拳や生花など各講座も充実。なにかを始めたい人は一度足を運んでみてください!



朝来市の中心街として

市役所や税務署など、まちの中核を担う一面も。国道9号線沿いにはチェーン店や大型ショッピングセンターがあり、利便性も高い。そんな和田山地域にある30数社ほどの企業とタイアップし、まちのクリーン作戦を実行するなど、それぞれが地域との関わりを大切にしています!



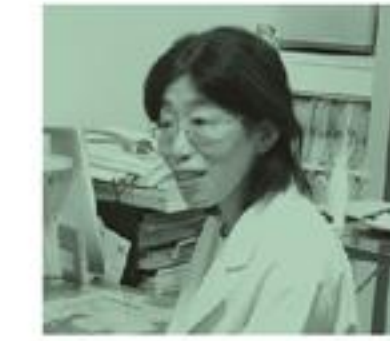
PERSON of WADAYAMA

兵頭さん



宝塚市出身の兵頭さん。幼い頃に会った料理人に憧れ、料理の道を志した。専門学校を卒業後、宝塚で有名なイタリアンに就職。料理人を続ける中で、疲労が溜まり体調を崩したことがきっかけで一度は料理から離れた。全く異業種の工場に働くことにしたが、どうしても「自分らしさ」を感じられず、自信を失うばかり。そこで30歳の時、「もう一度、料理をしよう」と決めた。紆余曲折あり、知人の紹介を経て、現在は和田山にあるイタリアン食堂・バンビーノプラス(c)でシェフをしている。「但馬に来て、見たことのない食材やおいしい食材に出会えた。その食材でメニューを考え、お客さんに喜んでもらえる時はやっぱり嬉しいです。」

吉田さん



クリニックよしだ(d)の副院長を務める吉田さん。院長でもある旦那さんが内科医で、吉田さんが小児科医であることから、生まれだての赤ちゃんからお年寄りの方まで家族でかかれるファミリークリニックとして開業した。通常の診察と並行し、朝来市で唯一の病児保育「紅色保育室」も実施。これまであらゆるお母さんの話を聞き、自身も子を持つ親として病児保育の重要性を感じていた。一方で吉田さんのもとに、思春期の子ども達が人には言えずらい心の声を打ち明けにやってくることも。そう、今やまちの保健室となっている。「みんな笑顔で、楽しく、健康で。ここに住んでよかったですと思えるまちでありたいし、お手伝いしたいです。」

巻野さん



巻野さんは和田山地域内外であらゆる活動をしている。和田山子育て学習センターの自主サークル「ブラックファンタジーのおもちゃばこ」の仲間達との「ブラックパネルシアター」の制作と巡回、和田山地域内での読み聞かせ活動、地域の人々が集うサロン・とまり木(e)スタッフなど。家族の介護に追われる毎日の中でも活動を続けて来れたのは、いつも誰かの助けがあったから。様々な人とつながる事で生きていく力を頂いた。今度はそれを次世代に返したいと思う。「基本、人が好き。面白いのが、人と人がつながると、そこに大きなパワーが生まれること。1+1は2じゃなくて、3にも4にもなるんですよ。仲間が会いに来てください。」

福富さん



もともと銀行員としてバリバリ働いていた福富さん。働く中で、「経営するということの苦労ややりがいを自分も感じてみたい。」と56歳の時に早期退職し、仲間とともに事業を立ち上げることに。現在は、竹田にあるお土産屋さん「海砂利水魚」やお好み焼き屋さん「寿限無」のオーナーを務めるほか、神河町や市川町のもともとは町営だった宿泊兼野外活動施設等も運営している。「ただただ経営するのではなく、人を喜ばせることが好き。」と福富さん。実は落語家としても活動中で色んな公民館に行く。常に地域密着を忘れず、様々な立場にたつて人に寄り添う。何をしても「笑顔を届ける」を大切に。

和田山地域について

面積:約13.3km²
人口:5,115人
(住民基本台帳:H30.2月末)

お問い合わせ

(和田山地区地域自治協議会)

080-5636-0084

Mail >> wadayama-jitikyo@asago-net.jp

あさご市スポレク大会

小学生から大人まで、誰もが気軽に参加できるスポーツレクリエーションイベント。競技は、“スリッパとぼし”や“20mダッシュ”などの個人競技と、“大なわとび”や“ぞうきんがけリレー”などの団体競技。みんなで参加すれば、みんなで盛り上がること間違いなし。普段では体験できないスポレクで、あさごギネス記録を目指しませんか。

【日時】7月16日(月・祝)8:30~12:30
【会場】和田山体育センター・和田山武道館
【問・申込】079-672-4932(朝来市生涯学習課)

第6回あさごキッズタウン

小学生がいろいろな職業にチャレンジできるイベント。仕事の楽しさと大変さを体験できて、さらに働くとお給料(仮想通貨)までもらえる。もらったお給料はイベント内で自分の好きなように使えるよ。朝来市内の小学生、集まれ!

【日時】7月28日(土)14:00~17:00
【会場】あさご・ささゆりホール周辺
【申込】申込書にて※先着200名※
【参加費】500円
【問】079-677-1165(代)
(朝来地域自治協議会<市役所朝来庁舎内>)

ひょうごヒューマン フェスティバル2018 in あさご

毎年、県内の幅広い人への人権啓発活動を目的に開催されるフェスティバルが、今年は朝来市で開催。地元団体の和太鼓演奏、映画上映や有名人の講演会、キャラクターショーなどのステージイベントが満載。ほかにも、さまざまな体験ができるブースが盛りだくさん。お気軽にお越しください。

【日時】8月18日(土)10:00~15:30
【場所】和田山ジュピターホール
【問】079-672-6122(朝来市人権推進課)

あなたはまちの未来 ASAGOiNG

まちは全て、誰かの「やってみよう」からできています。
特にオープンマインドな朝来市は、「やってみよう」が多いまち。
目を凝らせば、あなたの周りにも「やってみよう」がいっぱい見つかるはず。
何かを頑張っている人を見ると、ちょっと嬉しい。
そんな人を応援できたら、もっと嬉しい。
自らやろうと思って実現できたら、そりゃもう毎日が楽しくなる。
そんなあなたの「やってみよう」を応援しています。

少子高齢化、人口減少が進むなかで、朝来市の次の10年、20年を創りあげていく若い人たちに、「このまちが好きだな」と思ってもらいたい。好きになって住み続けてもらいたい。そんな「気持ちに届く」シティプロモーションが「あなたはまちの未来 ASAGOiNG」。他の誰でもない市民一人ひとり、「あなた」が主役となって朝来市の魅力を届けるシティプロモーションを目指しています。



ACCESS

自動車をご利用の場合

大阪・京都より約2時間
神戸より約1時間30分

鉄道をご利用の場合

大阪・京都・神戸より
特急で約2時間

あとがき

何気なく見ている、過ごしている、そんな日常に少し足を深く踏み入れると、知らなかったことがたくさんで、知ってはじめて見る目が変わる、楽しくなる、なんかちょっと違った日常になるなんてこともよくありますよね。取材はその連続です。気候も心地よくなりました♪プライベートでもふらっと視点を変える旅に出たいなんて思ってます^^
(SHIHO)

発行日:2018年6月5日
発行元:朝来市総合政策課 TEL 079-672-6110
〒669-5292 兵庫県朝来市和田山町東谷213-1
企画/編集:Team ASAGOiNG
テキスト:SHIHO
アートディレクション/デザイン:木村淳